

会計専門コース2年:船田 とあ子

会計研での受験生活

私は会計研究科に入学する時点では、公認会計士試験の勉強はほとんど進んでいない状態でした。そこで、会計研が会計士資格取得に最適な環境だと感じ、また、プラスアルファの強みをもちたいという思いから、入学を決意しました。入学後は基礎科目から履修し、会計研の授業と予備校の授業を並行して進める形で学習を進めました。多面的に学べる環境で学習したことで理解が深まったことに加え、予備校では学べない内容を学べたことが試験合格につながったと考えています。

試験対策

試験対策として特に力を入れていたのは、その日の学習内容を徹底的に管理することです。計画を立てることはもちろん大切ですが、計画通りに進まないことも多くありました。また、会計士試験では多くの科目を同時に学ばなければならない、バランスを取るのが難しいと感じることもありました。そこで、実際に「何の科目を、何時から何時まで、何時間勉強したか」を記録するようにしていました。この記録をつけることで、科目間の偏りや時間配分の問題点を可視化でき、翌日以降に改善策を講じることができました。これは、会計研の授業と自習時間との切り替えが難しい中で、効率よく勉強時間を確保できた理由だと考えています。試験対策の方法は、個々の状況や学習スタイルによって異なりますが、少しでも参考になれば幸いです。

後輩へのメッセージ

会計研の魅力は、会計士試験の勉強だけにとどまらず、ワークショップや提携講座などを通じて試験勉強の枠を超えた学びが得られる点です。また、同じように試験勉強をしている仲間が常に周囲にいる環境で学べたことは、私にとって何より励みとなりました。入学前は1人でも勉強はできと思っていたのですが、実際には多くの仲間の支えや言葉に助けられたことで、合格を果たすことができたと感じています。これから会計研で勉強をされる皆さんにも、試験勉強だけでなく、何かしらの大切な財産が得られることを心から願っています。

会計専門コース1年:多田 悠希

試験対策

私が試験対策で重視していた点は、「計算科目を早期に仕上げること」と「財務理論に早い段階から触れること」です。前回の論文式試験では、管理会計や租税法、経営学といった計算科目の基礎が最後まで固まらず、8月まで計算演習に追われる状況でした。その結果、監査論や企業法などの理論科目の学習が疎かになり、特に範囲が広い財務会計の理論はほとんど理解できていませんでした。こうした反省を踏まえ、今年は序盤で計算科目と財務理論の基礎を徹底的に固め、その後は理論科目に重点を移すという方針を立てました。具体的には、9月から翌年3月までに財務会計、管理会計、租税法、経営学を完成させ、直前期は軽い復習で済むよう計画しました。財務会計では連結会計や組織再編、キャッシュフロー計算書といった総合問題の学習に注力し、個別論点は短答式試験で得た知識を維持する程度に留めました。また、財務の理論もこの時期から並行して学習を開始しました。管理会計では最初に解いた際の下書きを保存し、2回目以降はその下書きを見ながら解答の流れを確認する方法で学習しました。租税法や経営学については、前年の知識を復習しつつ基礎を固めていきました。3月から予備校の第1回論文模試までの期間は、財務理論や監査論、企業法の理解を深め、解答作法を身につけることに注力しました。この時期は暗記の精度が不十分でも、重要な論証を最低限形にできるよう意識して論述練習を行いました。論文模試以降は理論科目の学習に本格的にシフトし、最終的には暗記の精度を高めることに注力しました。ただし、読むだけの学習は避け、自分で論述を組み立てる練習を重視しました。計算科目については過去の答練を月に一周することを目安に復習しました。

後輩へのメッセージ

私は短答式試験で3度、論文式試験で1度不合格を経験しました。振り返ると、学部時代は1人で学習していたため、他の受験生がどのように勉強を進めているか、どのようなスケジュールを立てているかがまったくわかりませんでした。しかし、会計研に入学してからは、相談できる仲間ができ、最後まで走り切ることができました。受験生活は孤独な戦いに思えるかもしれませんが、仲間の存在が大きな支えになります。ぜひ会計研究科に入学して仲間を作り、一緒に合格を掴み取ってください。応援しています！